

地域の声

中学生以上の学生が自ら運営する「たまり場」があったらよいのでは

中学生や高校生が地域で自由に集まれるような場所がない

子ども達が安心して遊べる公園マップがあるといい

学校など既存の施設を開放できないか

高齢者同士がお茶を飲みながら気軽に集まれるような場所が欲しい

高齢者と子ども、障害者などさまざまな人が出会う場が少ない

公共の集会施設のない地域では施設の利用料の負担が大きい



基本目標を達成するための「21の個別目標」

- 17 必要な人が仲間と出会う機会があります
- 18 困ったときに身近に相談できる人や場所があります
- 19 地域の活動グループがお互いに連携しています
- 20 だれもが利用できる場所が確保されています
- 21 自分にあったサービスを選べます



▲町ぐるみ健康づくり(神西地区)

始めよう! みんなで第一歩

「取り組み紹介」

★…地域での取り組み ◆…区役所での取り組み

- ★ 日曜日に「おしゃべりの会」を開き、子育て中の親の息抜きや親同士の語らいを応援している保育園があります。
- ★ 食生活等改善推進員の協力で、「男の料理教室」が開催され、修了生が高齢者を招いて会食会を開催しているところがあります。
- ★ 「地域支えあい連絡会」でボランティア活動への要望について対象住民にアンケート調査をしたところがあります。
- ★ 地域ケアプラザでは、介護者のつどい、リハビリ教室、特定疾患(難病)の方の会、絵本の読み聞かせ会など、さまざまな事業を通じて仲間作りを進めています。
- ★ ある自主活動グループでは幼児の外遊びの会を開催しています。子ども達がいきいきと眼を輝かせて遊んでいます。
- ★ 「すくすく子がめ隊」は身近な会場で、地域の方たちが子育てを支える活動です。区内33会場で実施されています。
- ★ 地域の施設を利用した身近な場所での体操やウォーキングなどの健康づくり活動は、普段着のまま参加でき、その後の交流にもつながっています。
- ◆ 身近な場所で近所の人との健康づくりが気軽に楽しくできるような活動を支援しています。(町ぐるみ健康づくり事業：健康づくり係)
- ◆ 沢渡・三ツ沢に地域ケアプラザ、神大寺に法人型障害者地域活動ホームの建設計画を進めています。周辺地区の説明会や懇談会、イベントなどを通じて広くお知らせするとともに、利用しやすい施設づくりを目指しています。(障害者支援担当、事業企画係)
- ◆ 保育園の園庭開放を行ない、地域で子育てを見守る機会をより増やすための支援をしていきます。(保育園地域交流事業：保育担当、保育園)
- ◆ 地域への出張講座や広報などにより、安全な食品を食べられるよう、また、快適な生活環境を整えられるよう情報提供していきます。(食と住まいの安全確保：生活衛生課)
- ◆ 出会う機会の少ない病気の人同士、生活の工夫や相談ができるよう、講座や交流会を行なっています。出会いと安心を得るための支援を今後も行います。(難病講演会・交流会、生活教室：障害者支援担当)
- ◆ 初めての妊娠・出産・育児に備えるために、出産予定月の同じ人を対象に両親教室を行なっています。出産後に連絡を取り合ったり、相談したりできる仲間作りも支援しています。(両親教室：子ども家庭支援担当)

「あったらいいな」

「すくすく子がめ隊」は幼児まで。もっと広い年齢の子どもたちのたまり場が地域にあったらいいな。地区ごとにボランティアの組織ができれば、小さなことは地区で解決していけるんじゃないかな。

かめ太郎クイズ⑨

【問題】神奈川区には地域防災拠点(地震等で家が倒壊し、住むところがなくなったときの避難生活を送る場所)はいくつあるでしょう? ①31か所 ②22か所 ③13か所 [答え p20]

かめ太郎クイズ⑩

【問題】神奈川区で登録されている犬の数はどのくらいでしょう? ①約10,000頭 ②約8,000頭 ③約5,000頭 [答え p20]